

2026年10月～ 東京都で開催される 国際美術展の正式名称が決定

国際美術展「TOKYO ATLAS」

東京を国際的な芸術都市へ

東京のアートシーンを世界に発信、多くの人々がアートを身近に感じる場を目指す

東京都及び東京国際芸術祭実行委員会は、2026年10月10日（土）から12月20日（日）までの72日間、国際美術展「TOKYO ATLAS」を開催します。

都市空間と水辺が響き合う臨海部ならではのダイナミックな展示と多彩なプログラムによって、より多くの皆様がアートを楽しみ、身近に感じて頂ける機会を創出してまいります。

この度、本美術展の名称および開催概要を発表します。

名称

■日本語: 国際美術展 TOKYO ATLAS（読み方: コクサイビジュツテン トウキョウ アトラス）

■英語: TOKYO ATLAS International Art Exhibition

国際美術展「TOKYO ATLAS」とは

芸術文化は都市の魅力を形成する基盤であり、そのさらなる発展を可能にする原動力でもあります。とりわけ東京という多様な人々が交錯する大都市において開催するこの美術展は、作品展示の場にとどまらず、アートを触媒として、アーティスト、観客、企業、教育機関などの領域横断的な知の交流を促進し、多様な価値観や社会課題への気づき、そして未来に向けた好奇心が生まれるプラットフォームとなります。

この度開催する国際美術展「TOKYO ATLAS」は、東京の中にあって地政学的にも世界への玄関口である臨海エリアにおいて都市と水辺の環境がダイナミックに響き合うこの空間に、国内外からアーティストが集い、アートを通じて東京の新たな風景を描き出します。

国際美術展「TOKYO ATLAS」は、世界を支える神話的存在であるアトラスに由来し、同時に地図帳を意味します。本展では、世界の第一線で活躍するアーティストによる展示に加え、東京都が支援してきた若手アーティストによる特別展も展開。

多様な表現が交差することによって、多くの人に作品を鑑賞するだけでなく、アートが描く地図をたどりながら東京という都市そのものを感じて、あらためて読み解いていく場にしたいという意味を込めています。

主催挨拶

東京という都市空間を舞台に、子どもから大人まで、あらゆる世代の方々が日常の中でアートに触れ、親しんでいただける機会を創出するため、2026年10月から、国際美術展「TOKYO ATLAS」を開催いたします。

芸術文化は、都市に不可欠なインフラであり、私たちの心に希望と癒しをもたらす重要な存在です。コロナ禍以降、東京都は、創作場所を確保することが難しい若手アーティストにアトリエを提供するなど、アーティストの様々な活動を継続的に支援してきました。

世界的なアーティストが参加する国際美術展「TOKYO ATLAS」においては、未来を切り拓く若手作家による特別展も展開し、東京のアートシーンを、かつてないほど力強く世界へと発信してまいります。

美術館という枠を超えた空間で展開されるこの美術展が、都市が秘める可能性を引き出し、見慣れた風景の見え方までも変えていく、すなわち、東京という都市を読み解く新たな「地図帳」となっていくことを期待するとともに、世界中から東京を訪れるすべての方々に、東京の魅力を再発見していただけることを願っています。

2026年、東京が新たなアートと出会い、都市としてどんな進化を遂げるのか。ぜひご注目ください。

東京都知事

小池百合子

この度、2026年秋、東京にて新たな国際美術展「TOKYO ATLAS」を開催する運びとなりましたことを、実行委員会を代表してご報告申し上げます。

今回会場となるのは、幕末の砲台跡に始まり近代以降は都市開発の象徴として再生されてきた台場、物流とテクノロジーの拠点として発展してきた青海、倉庫街から文化・創造産業の集積地へと変貌を遂げた天王洲。いずれも東京湾岸に位置し、江戸・東京の歴史と変遷を象徴する場所です。

日本の首都として高度に発展し、ある種、飽和状態にある大都市において、本美術展は地域固有の文脈を踏まえながら、アートの力で人々の感情や本能を呼び覚まし、時に驚きや困惑をもって私たちに揺さぶりを与えてくれます。そうした刺激が新たな社会的価値と未来への活力を生み出していきます。

とりわけ若い世代の皆様にとって、作品に触れ、知るという経験が、自己の現在地を認識するための「地図帳」となることを願っています。

今後、開催に向けて詳細な情報を順次発表してまいりますので、皆様のご関心とご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

東京国際芸術祭実行委員長

青柳 正規

国際美術展「TOKYO ATLAS」では新進気鋭の才能の発見、アート界の活性化、学びの機会拡充、そしてアートと都市の新たな可能性を探求し、東京の未来を切り拓く新しい価値を生み出すことを目指します。アーティストをはじめ、企業、教育機関など芸術文化のすばらしさに共感し応援してくださっているすべての方とともに、東京ならではの美術展を作り上げていきます。

開催概要

- 名称 日本語:国際美術展 TOKYO ATLAS (読み方:コクサイビジュツテン トウキョウ アトラス)
英 語:TOKYO ATLAS International Art Exhibition
- 会期 2026年10月10日(土)~12月20日(日) 72日間
- 会場 (台場エリア) 台場公園 / お台場海浜公園
(青海エリア) 青海南ふ頭公園/ テレコムセンタービル
(天王洲エリア) WHAT MUSEUM / アイルしながわ
- 主催 東京都 / 東京国際芸術祭実行委員会 / 公益財団法人東京都歴史文化財団
- 協賛 寺田倉庫株式会社、株式会社東京レポートセンター
- 公式ホームページ <https://tokyoatlas.jp/>



写真左から

WHAT MUSEUM
台場公園
青海南ふ頭公園



写真左から

アイルしながわ
「巡り廻る」©Tennoz Art Festival 2020 Art work by 吉野もも
お台場海浜公園
テレコムセンタービル / アトリウム

__若手特別展示の開催

会期中、WHAT MUSEUMにおいて若手アーティスト・若手人材による特別展を開催します。幅広いジャンルの活動や領域横断的・実験的な試みを支援し、国内外の若手アーティストを継続的に育成してきたトーキョーアーツアンドスペース(TOKAS)の運営やアートマネジメント人材の育成プログラムの展開など、長年にわたる若手人材の育成の実績を持つ(公財)東京都歴史文化財団が中心となり、天王洲の街と連携しながら若い才能の活躍の場を創出していきます。

__文化芸術祭の展開

東京都では、秋冬の東京を舞台に、アート、演劇、エンターテインメント、イルミネーションなど都内各地で繰り広げられる多彩な催しを結び合わせ、ひとつひとつの輝きを都市全体の魅力として描き出す国際文化芸術祭を展開します。臨海エリアをはじめ、代々木・渋谷エリア、日比谷・丸の内エリアを舞台とし、季節感やテーマ性を備えた新たなプログラムを織り交ぜた一体的プロモーションを実施します。

国際美術展「TOKYO ATLAS」は、この国際文化芸術祭の臨海エリアの中心プログラムとして開催します。

<参考リンク> [東京都 国際文化芸術祭 開催発表\[9月\]都庁総合ホームページ](#)

[2026年、東京都が新たな文化芸術祭を始動\[7月\]都庁総合ホームページ](#)

本プレスリリース内に掲載しているオフィシャル画像は以下よりダウンロードください。

bit.ly/4altVxq パスワード:atlas

報道関係者のお問い合わせ先

国際美術展「TOKYO ATLAS」広報事務局 (株式会社マテリアル内)

TEL:03-5459-5400 FAX:03-5459-5491 Email:tokyoatlas_pr@materialpr.jp

担当:羽田(080-6536-9555)/町山(070-8792-1097)